

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：小杉善二 幹事：塩村喜代次

情報委員長：米沢修一

1980・2月14日 第159号



“鬼は悪ならず”

猿丸神社神官

長谷 勝彦氏

節分とは季節の移り変わる立春、立夏、立秋、立冬の前日の称であるが、いつの間にか冬の節から春の節に移る時のみを節分と呼ぶようになった。

この節分に行く豆まきであるがなぜ鬼が出て来、なぜ豆でなくてはいけないのか。

鬼は悪の代表の様に言われているが強ちそうでもない。

「節分」という狂言には鬼は蓬莱島から宝物を持って来たたとあるし古い書物や伝説を調べても悪と決めつけられない事が数々ある。

又、青豆を培って投げる風習は南北朝時代にさか上る。宮中で自分の払いをする時、小豆の中に手を入れることにより邪気を豆にとらせ清浄するということであるが、小豆が青豆に変わり、その豆に込めた邪気を投げたのでないかと考えられる。

又、この思想は6月と11月にある大祓(おおはらえ)の儀式で人形(ひとがた)や形式(かたしろ)を水に流すのと同じである。その対象が鬼となり、私達の邪気をすべて吸い取ってくれる訳である。

鬼を祀る神社では福がいるから鬼がいるとの考え方から豆まきには「福わ内！ 鬼は内！」と叫んでいるように、鬼はすべて追いうというものでもない。

これら何の抵抗もなく受け入れて来た日本独特の風習におもしろさと又不思議さをも感じている。

—金沢北RC節分の会講話より— (文責 米沢修一)

私の職業奉仕

橋場 幸一

私が大阪の既製服メーカーへ就職した頃（昭和29年）は、ようやく食糧事情も良くなり衣料品にぼつぼつ目が向けはじめられた頃で、当時セビロはまだ財産視されており、男性の大部分はセビロを実に大切に扱っていた。学生服を脱いでセビロを初めて着た時、そこには社会人となった実感が強く感じられたものである。しかし、最近ではセビロはもうそれほど大切なものではなくなってしまった。財産から消耗品へと大幅にその価値は変わってしまった。だが奇妙な事には財産であった時代のセビロと消耗品となった最近のセビロでは、流行とか色柄は多少違っているが、セビロという基本型は少しも変わっていないし、セビロの本質は全く同じとあって良い。

ではいったい何が変わったのだろうか。どうやら変化したのはセビロの方ではなく、それを着る私達の方であるらしい。実際セビロについてぐらい俗説、珍説、迷説にとりまかれているものは他の衣料品の中にはちょっと見当らないほどである。畳に坐ってシワにならないのが良いズボンだ、アームホール（袖ぐり）はできるだけゆったりしている方が着やすい。二つ釦は中年向きで、三つ釦は若向、体を体操やボクシングのように動かしてどこにもひきつれたり体に窮屈だったりしないのがいい仕立だ、既製服より注文服の方が上等、セビロの生地は単色よりいろいろな色彩の糸が多く織込まれているほど高級になるなど。セビロの本質とかけ離れたところでいわれ、信じられている俗説、珍説、迷説のたぐいを数え出せばきりが無い。画一的な、という事が、セビロに対してよくいわれる。ある程度の画一性が現代の男性のセビロには必要不可欠の要素である。この民主主義の時代にあの男は三万円の服を着ている。あの若い男は年に似合わず十万円のセビロを着ているというような事が一目で判別できたらいったいどういう事になるだろうか。それこそ仕事も手につかず、まるで裸で歩いているような気になってしまうに違いない。



セビロの価格は中途半端な専門家では正確に当てる事は出来ない。だからこそセビロを安心して着られるのではなかろうか。婦人服の個性化、紳士服の画一化とそのあらわれ方は全く正反対のものになってくるこのような事情を端的にあらわすエピソードがある。

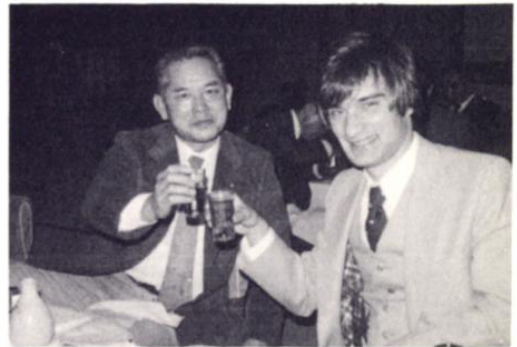
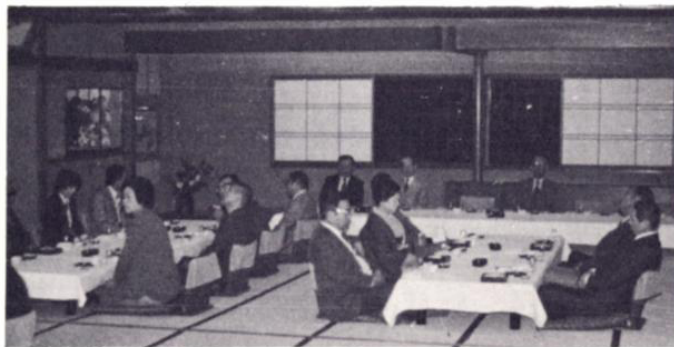
パーティーに招かれて皆が自分と同じ服を着ているのを見て安心するのが男性、自分と同じ服を着ている人が一人でもいないかと不安をたえず感じているのが女性とよくいわれている。このような男性と女性の服の根本的な相違は現代社会の男性と女性の置かれた位置をそのまま象徴している。男性の仕事は人と人との関係とか集団にある事を忘れては成立しない。ところが女性の大部分は家庭にありその家庭は社会や集団から隔絶したところに存在する。このように紳士服と婦人服は基本的に違った次元にたったものである。私が初めて洋服業界に入った頃は、セビロのサイズは20サイズ位でセビロを着る方は三対七で注文服の方が多かったのが、今では既製服の縫製技術も良くなりサイズも50サイズ位に増えアメリカの90パーセントには及ばぬが、七対三の割で既製服の方が多くなり、アメリカを筆頭としてすべての先進国は注文服よりも既製服の方がはるかに多く、このパーセンテージは後進国になるにつれて注文服の割合が多くなっている。というのは特殊な物以外はわざわざ仕立てる必要がなく、かりに注文で作った場合十万円かかるものが三万から五万円ぐらいで出来るなどさまざまなメリットがあるものを最初から既製服というだけの理由で手にとってみようともしない男性が多いのが残念です。題名からズレてセビロ談議になってしまいましたがより多くの方に既製服を理解していただきお求め易い価格で良いセビロを販売し、適正な利潤をあげ少しでも多く税金を納める事が（仲々思うようにいきませんが）社会に奉仕する事と信じております。

＝ 厄をはらい福をよぶ ＝

寒冷の2月3日、節分の会が40名近い参加のもと6時より石亭にて行なわれた。

ゲストの猿丸神社神官、長谷勝彦氏より節分について説明があり、我が国独特な宗教行事の「豆まき」の謂を改めて認識する。当日はジョン君も出席し、素晴らしいノドをも披露した。

年々訪れる節分に私達の願いも同じである、身心の健康と幸せを願いつつ「福わ内！ 福わ内！」



1月例会出席状況

出席率 97.32%

会員名	月日	1/10	1/17	1/24	1/31	1月	会員名	月日	1/10	1/17	1/24	1/31	1月
浅田	豊久	○	○	M	○	○	岡部	三郎	M	M	欠	○	×
浅野	弘敬	○	M	○	○	○	岡田	林太郎	○	○	○	○	○
出島	正樹	○	○	M	M	○	才田	次男	○	○	○	○	○
二橋	場正	○	○	○	○	○	桜井	健太郎	M	○	M	○	○
長谷川	幸一	○	○	M	○	○	沢田	哲夫	○	○	○	○	○
平尾	信明	○	M	○	○	○	柴田	三郎	○	M	○	○	○
本市	江他	○	○	○	○	○	清水	水村	○	○	○	○	○
飯野	川美	M	M	○	M	○	下村	木村	○	○	○	○	○
石川	健志	○	○	○	○	○	鈴塩	村喜	○	○	○	○	○
石丸	栄二	○	○	○	○	○	庄田	厚代	○	欠	M	欠	×
上江	幹夫	○	○	○	○	○	高田	全郎	○	○	○	○	○
笠間	次作	M	M	M	○	○	高他	達郎	○	M	M	○	○
木島	恒光	欠	欠	○	○	×	館山	松雄	○	○	○	○	○
木下	和吉	○	M	○	○	○	土原	外代	○	○	○	○	○
小林	隆二	M	M	○	○	○	佃一	成一	○	○	○	○	○
小間	井宏	M	M	○	○	○	釣見	一信	○	○	M	○	○
越野	杉守	○	○	○	○	○	上住	忠彦	○	○	○	○	○
小杉	善二	○	○	○	○	○	魚若	安三	○	M	○	○	○
小增	江泰	○	○	○	○	○	山岸	三啓	○	○	M	○	○
本岡	三千	○	○	○	○	○	山米	与繁	M	○	○	○	○
宗田	市太	○	○	○	○	○	山米	修昭	○	○	○	M	○
中村	三省	○	○	○	○	○	米吉	一炳	○	M	○	○	○
中大	場勝	○	○	M	○	○	由井	賢海	M	M	○	○	○
大村	精二	○	M	○	M	○	吉山		○	○	M	○	○

第317回例会

- ◆1月31日(休) 12:30~13:30 ホワイトハウス
- 1. 講話 「ヨーロッパ雑感」
会員 桜井健太郎君
- 2. 出欠 出席50名、欠席6名、出席率89.29%
ビジター12名
- 3. 来訪者 (敬称略)
金沢RC 分校太平、貝田昭次
金沢東RC 松梅益雄、福光博
正田文男、伊藤建史、竹松俊孝
松家克磨、大内三郎
金沢西RC 辻昭夫
金沢南RC 小堀外茂次、柿木英夫
- 4. 幹事報告 ○「はくらの町SOS展」配布。
金沢5RCでは、昨年の国際児童年を記念して、23日日常生活での改めたいマナーなどを漫画で表した小冊子「はくらの町SOS展」を市内小学5・6年生全員に配布しました。
○京都洛北RCの5周年記念誌、来週全員に配布。
○例会終了後 職業奉仕委員会
- 5. ニコニコBOX
○過日北国新聞「登壇」欄に思いがけず大きく登壇させて頂きました
浅田豊久
○本日よりジョン君をおあずかりします
国際奉仕のためにがんばります
飯野健志
合計 4,000円 (累計 933,000円)
- 6. 今週のニュース カーター大統領は年次報告で国際通貨面にふれ、現在の円安が行きすぎでないかと異例の指摘。日本の輸出に警戒を表明。一時小康を保った日米経済も摩擦の再燃が懸念、日本と欧洲は比較的中立な立場にとどまることにより「ただ乗り」をしていると非難の言葉はきついが、矛先が日本に向けられやすいことを認識、事前に対策を立て80年代を乗り切る優れた資質とひたむきな努力を……

#####

1月のクラブ日誌

- 1月10日 新入会員研修会 (長谷川君)
次期会長・副会長・幹事研修会打ち合せ
- 1月11日 5RC合同役員会
於 金沢都ホテル
- 1月14日 5RC75周年委員会
於 スカイホテル
- 1月17日 1月定例理事会
- 1月23日 次期会長・副会長・幹事研修会準備委員会
構成
於 小杉会長宅

第318回例会

- ◆2月7日(休) 12:30~13:30 ホワイトハウス
- 1. 講話
杵屋六以満、六以陽氏
- 2. 出欠
出席44名、欠席12名
出席率78.57%
ビジター28名
- 3. 来訪者(敬称略)
金沢RC 坪野俊雄
坂尻哲夫、岡田虎二
岩喬、立野達郎
中村外志郎、北公夫
佐藤隆、柴野正英
金沢東RC 石動隆信、島田正雄
山本勝美、越原哲郎、正田文男
酒井神三郎、浅田裕久
金沢西RC 柚木健、森岡弘、梅田明
坂本宗一郎、根岸一雄
金沢南RC 成瀬栄蔵、越桐弘夫
清水誠三、徳光泰治、諸江汎
横川松次郎、朝倉宏三
- 4. 幹事報告 ○京都洛北RC 5周年誌配布。
○例会後5RC合同役員会開催。
- 5. お誕生日祝 18日 山岸与作君
28日 石川栄治君
- 6. 御結婚記念日祝 4日 出島敬識君
6日 平尾信明君
- 7. ニコニコBOX
○6ヶ年皆出席をうけて 由井賢一
○去る2月1日北陸葬祭協同組合設立10周年を祝して 釣見栄一
○釣見会員より10周年を記念して30万円の米山基金をいただきました
山岸与作
○2月3日、節分会急用のため欠席しましたおわびに 俵外代吉
○第3回伝統九谷焼工芸展で優秀賞をいただき 長谷川聖人
○私の尊敬する六以満先生を講師におむかえして 鈴木透
○六以満先生を講師におよびして、又先日の節分会盛会に終わり 飯野健志
○長男修が先日FM放送で演奏し、日本のジャズを代表する4「トロンボーン」の一人とほめられて 塩村喜代次
合計23,000円 (累計 956,000円)
- 8. 今週のニュース 20数年前発見されたウイルス増殖阻止因子インターフェロンは癌や慢性肝炎などに対して優れた治療効果が期待され、量産化を目指して民間企業に委託開発費を支出する事を決めた量産が難しく実用に至っていないが悪性腫瘍ウイルス性疾患などに効果があるという一方過酸化水素は新基準で残留ゼロと癌対策は急ピッチ。死亡第一位になろうというガン対策に大いなる期待をしたい。

